

令和4年度花巻市学校給食センター運営委員会 会議録

1 開催日時

令和5年3月1日（水） 午後3時05分～午後4時00分

2 開催場所

石鳥谷総合支所3階 大会議室

3 出席者

(1) 委員 12名

野里帝夫委員（八重畑小学校校長）

菅原正浩委員（湯本中学校校長）

谷村晴子委員（矢沢小学校校長）

菅原孝喜委員（石鳥谷小学校副校長）

鈴木俊文委員（大迫中学校副校長）

廣瀬桂子委員（南城小学校教諭）

小田島夕子委員（東和小学校養護教諭）

菊池るみ子委員（笹間第一小学校栄養教諭）

曾根豊子委員（花巻中学校栄養教諭）

菅原真子委員（若葉小学校PTA副会長）

梅木雄介委員（湯口中学校PTA幹事）

菅野裕也委員（東和中学校PTA会長）

欠席委員：佐々木健委員（大迫小学校副校長）

(2) 事務局(学務管理課学校給食管理室) 4名

八重畑室長、佐々木次長、出茂主査、遠藤主事

4 傍聴者 なし

5 議題

(1) 役員の互選について

(2) 令和4年度学校給食運営内容について

(3) 令和5年度学校給食運営計画（案）について

(4) 令和5年度学校給食実施日数及び学校給食費について

(5) 情報提供

・公会計の状況について

6 議事録

事務局（佐々木次長）

ただいまから、令和4年度花巻市学校給食センター運営委員会を開会いたします。本日

の出席者は12名、欠席者は1名で半数以上の出席がありますので、花巻市学校給食センター管理運営規則第9条第2項の規定により会議が成立しておりますことをご報告いたします。

それではここで、佐藤教育長からご挨拶申し上げます。

(佐藤教育長)

大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。今辞令を交付させていただきましたが、ご承引をいただきました。よろしくお願いいたします。

コロナもあしかけ4年ということで、給食の時間は楽しい時間なのですが、まだ制約がある中で、子供たちにはちょっとかわいそうな思いがありました。おかげさまで、納入していただいている業者の皆さま、それから日々安心と衛生管理にお努めいただいている栄養教諭の先生方、そして給食時間にご指導いただいている各学校の先生方のお力によって学校給食事業がしっかり実施されていることについてもお礼申し上げたいと思います。また、PTAの方々にも学校給食についてはご理解いただいて子供たちもお家で話す機会もあるのではないかなと思いますけれども、ご支援いただきありがとうございます。

この1月に開催されました「2022年度学校給食調理コンクール」について、私も新聞記事を見て喜んだのですが、花巻市からは矢沢学校給食センターの方々が参加して、雑穀や白金豚、きくらげ、りんごといった地元食材を使った献立で、県の学校給食会の会長賞を受賞いたしました。順位をつけると2位にあたるのでしょうか、頑張ってください本当にありがたく思いました。私の学校給食の記憶というと、まず筆頭はカレーライス、次は揚げパン、次がミルメークで、毎日の給食が楽しみで勉強しに行ったのか給食を食べに行ったのかわからないんですけれども、健康でおいしい献立を工夫していただいていることに本当に改めて感謝申し上げます。

今も議会が始まっていて、昨日それから明日、明後日も一般質問があるんですけども、大変学校給食に対して関心が高くてご質問を二ついただいていた。

一つは、学校給食に有機農産物をもっと取り入れるべきだということです。本当にありがたいことなんですけど、ただ、有機野菜の栽培農家の規模がそんなに大きくないということ、さらに学校給食の場合大事なのは、本当にいいものを安定してたくさん供給していただかなければいけないということがあります。販路とか市場開拓が急務で教育委員会でも難しいというのが実態です。農協さんとか農政サイドと手を組んでやっていかなければならないだろうなと思いますけれども、SDGsの関係もあるので実現できればいいなと思っております。ただ、現在も地元のものをたくさん普段から使わせていただいているのでこちらも感謝しなければならないと思います。将来的には有機農産物も導入していければなと考えております。

それからもう一つは無償化ということでした。実は学校給食費は、材料費については保護者の方々にご負担いただいているのですが、給食の事業は全部で9億円以上の予算を組んでいる事業で、そのうち5億円以上が人件費や施設、設備費、光熱費にあたりこれらは市のほうで負担しています。材料費は全部でご負担いただいているのが3億7千万ということで、学校給食法では材料費については保護者の負担にすると書いてあるのですが、最近では全国的にも子育て支援ということで、なんとか安くできないかなと考えておりました。兄弟で例えば二番目の人を半額にして三番目の人を無料にしてとかいろいろ試算してみた

んですが、全部無償化すると3億7千万、一回やったのはこれをやめるわけにはいきませんから、これを毎年やるとなると事業がちょっとできなくなる、それからさっき言ったような方法でやってもやはり億という金がかかるのでそれはちょっと厳しいなというところがあります。

それで子育て支援ということで今回始めようとしているのは、保育園幼稚園の3歳児以上は保育料無償化なんですけれども、3歳未満の保育料を安くできないかな、あるいは副食費を少し補助できないかなというふうに今まさに小さいお子さんがいる方々のご家庭の負担をまずは軽減したいというのを進めているところであります。

何より今、花巻の学校給食の課題というのは二つあるかと思います。

一つは、東和・大迫・石鳥谷の調理場は新しく衛生基準を満たしていて、あまり実感はないんですけれども、旧花巻市内の調理場が非常に古くなっているということです。ですから、毎年のように設備の修理等に大変お金がかかっているというわけですが、今日はボイラーの調子が悪いとか、水道が凍ったとか、あるいは今日はこういう理由で配達が遅れたとか毎日ドキドキの部分もあるんですけれども、そういった旧花巻の給食設備これをなんとか早く新しいものにして、そしてできれば早くアレルギーを持っている子供たちのラインも作りたいと考えております。そのような共同調理場になりますと、かなり広い場所も必要ですし、給食は運ぶのに30分ルールがありますので、そうすると場所的にもかなりしっかりしたところを選ばなければいけないということで、まずそちらを優先したいなと思っております。

二つ目は、物価が高騰しているということです。物価高騰で既に主食、牛乳、副食費で来年度の給食費は今の給食費では足りないということがわかっています。そこで試算すると一食につき10円必要になるということで、この10円分については、保護者負担は今の給食費のままで、一食10円分については市の予算でもってなんとか対応して値上げはしない方向でいこうということで進めております。

そのような状況ですが、運営委員会では、まず役員について互選をお願いしたいと思います。それから今年度の学校給食の運営の状況、内容についてお知らせをしたいと思えます。そして来年度の運営計画、実施日数や給食費についてお諮りしたいと思いますし、それから公会計で一元化したわけですけれども、その状況についてお知らせ申し上げましてこのことについて委員の皆さまからもたくさんのご意見をいただければというふうに思っております。

今日は先ほどもお話し申し上げましたとおり議会の関係で打ち合わせ等ありますので途中で退席することをお許してください。本当に今日はどうぞよろしく願いいたします。

事務局（佐々木次長）

佐藤教育長ですが、用務のためここで退席させていただきます。

事務局（佐々木次長）

それでは次第に従いまして進めてまいります。議題1において議長の職を務めます委員長が決定するまでの間、事務局において進行させていただきますので、よろしく願いいたします。

なお、本会議は、花巻市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、公開することといたしておりますのでご了承願います。

では、次第3の議題に入ります。議題1、運営委員会役員の互選についてを議題といたします。

事務局（佐々木次長）

お諮りいたします。役員の選出方法はいかがいたしましょうか。

（「事務局案があれば一任いたします」の声あり）

事務局（佐々木次長）

ただいま「事務局案」という声がありましたが、他にありますでしょうか？

（発言なし）

事務局（佐々木次長）

ないようですので、事務局案について説明させていただきます。

委員長に八重畑小学校 校長 野里 帝夫様、副委員長に湯本中学校 校長 菅原 正浩様の選出をご提案いたします。

事務局（佐々木次長）

ただ今の事務局案にご異議等ございませんでしょうか。

（異議なし）

事務局（佐々木次長）

ご異議なしということですので、ただ今の案のとおり決定いたします。

委員長が決定いたしましたので、規則第8条第3項の規定により、ここから議長は、委員長の八重畑小学校 校長 野里 帝夫様をお願いいたします。それでは校長先生、委員長席にご移動をお願いします。

（野里委員長）

八重畑小学校野里でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

本校は石鳥谷地区の給食センターにお世話になっております。本当に給食がおいしくてですね、子供たちも毎日喜んでおります。各給食センターにおかれましても、適切な栄養摂取をはじめ地元食材を使った献立、行事食、リクエスト給食、リザーブ給食などその時々による季節感であったり地元感を感じられるような給食を提供していただきまして本当にありがとうございます。学習指導要領の総則にもあるんですが、学校における食育の推進というのが位置付けられておまして、その中でも給食の位置づけは大変重みがあるし、大切な教育の場であるとおつくづく感じております。

引き続き花巻市の学校給食がよりよいものになるように、皆様の貴重な意見をいただきたいと思いますので、本日はどうぞよろしくをお願いいたします。

（野里委員長）

それでは、さっそくですが議題2に入りたいと思います。令和4年度学校給食運営内容について、事務局より説明をお願いします。

事務局（佐々木次長）

資料2ページをお開き願います。

(1) 今年度の食数の状況ですが、5月1日現在で小・中学校が28校、給食センターが10センターございます。児童生徒数は小・中学校合わせて6,508人、職員数は673人、合計7,181食を提供しております。

次に(2) 給食実施日数及び給食費の状況ですが、給食日数は小学校が160日から168日の間

で、平均では166日、中学校は162日から168日の間で、平均では165日となっております。

一食単価は小学校が295円と280円、中学校が350円と320円となっておりますが、地域によって単価が違うのは、花巻地域と石鳥谷の合計8つの給食センターは炊飯の設備がないため、ごはんを民間事業者が炊飯し納品しております。そのため、給食センターで自前で炊飯している大迫・東和地域に比べて単価が高くなっております。

次に3ページ目をご覧ください。給食実施内容については、完全給食で主食、牛乳、主菜、副菜、汁物の組み合わせで実施し、主食は米飯が週4回、パンが週1回となっております。米飯炊飯については、先ほども申し上げましたが炊飯設備を備えている大迫・東和給食センターが自前で、他の8つの給食センターは民間に委託しております。

年間の事業といたしましては、季節ごとの行事食、子ども達からのリクエストに応じたリクエスト給食のほか、一部の給食センターでは希望する献立を選択、セレクトして予約、リザーブする給食も実施しております。また、よく噛んで食べる習慣を身につけるためにかみごたえのある食材を使った「かみかみ献立」も通年で取り入れております。

また、1月には全国学校給食週間に合わせて、県内の郷土料理や、平塚市や十和田市など友好都市の特産物を使った献立や、花巻の食材を使った献立などを提供しております。

次に、花巻産りんごの提供ですが、昨年度同様に、花巻市農業振興対策本部と花巻農協からの助成を受けて、9月から12月まで月が変わりで4品種を提供しました。また、りんごの提供と併せて地元生産者による出前授業を笹間第一小学校3年生の教室にお邪魔して実施しました。出前授業はコロナ禍でお休みしておりましたので3年ぶりの開催でしたが、子供たちからはたくさんの質問が寄せられ、時間オーバーするほどの盛り上がりでした。今後も継続してまいりたいと思います。

また、花巻の特産品である雑穀についても献立に取り入れており、1月の給食週間には古代米と花巻商工会議所の提供による「稗カレー」を使ったカレー、うどん、豚汁などを提供しました。

次に(4)の給食物資の調達です。学校給食で使用する食材は、「花巻市学校給食用物資納入登録業者名簿」に登録されている業者が各給食センターに納品しております。登録に関しては要綱を定め、業者から申請を受けて教育委員会が審査を行っております。現在の登録数は32業者で、有効期間は3会計年度としております。現在、令和5年度からの登録業者の受付を行っているところです。

次に(5)の地場産物の活用状況ですが、地場産物につきましては、学校給食法をはじめ、国や市の食育推進計画に基づき、積極的に活用を図っているところでございます。岩手県による「給食事業における県産食材の利用状況」の調査では、花巻市の学校給食における県産食材利用の割合は重量ベースで66.5%と、県平均と同じ割合となっております。今年度は2年に一度の調査の年で、結果は来年の1月頃公表予定です。

より具体的には、お米は花巻市産ひとめぼれを、パンは県産小麦100%を使用しておりますし、牛乳も花巻市周辺の原材料を使用しております。その他、精肉は県産品を使用しております。野菜は、花巻農協の協力を得て、花巻産野菜の出荷情報を各給食センターに提供し、旬の地場産野菜を献立に取り入れております。

続いて4ページをお開きください。(6)栄養摂取状況についてご説明します。毎年6月に保健所が調査している「特定給食施設栄養管理状況報告書」から、小学校、中学校別に全給食セ

ンターの平均給与栄養量を算出し、基準量に対しての充足率を表示しております。

充足率はおおむね良好であります。課題といたしましては、中学校のカルシウムと鉄の不足と、小・中学校とも塩分の超過ととらえております。カルシウムと鉄につきましては、献立や食材の見直し、成分強化食品の活用により、不足とならないよう努めてまいります。食塩につきましては、難しい課題ではありますが、出汁を効かせて旨みを増やしたり、具を多くしたり、加工品や調味料の見直しや、味付けの工夫により塩分を抑えるよう引き続き努めてまいります。

続きまして5ページをお開きください。(7) 食の指導の実施状況ですが、令和4年1学期から2学期の間、栄養教諭を中心として、小学校では17校全校で延べ120回、中学校では8校で延べ44回実施されており、指導の主な実践例は記載のとおりとなっております。

続きまして(8) 安全な学校給食を提供するための対応ですが、衛生管理、食物アレルギー、異物混入、感染性胃腸炎など、食の安全に関わる様々な対応について国、県、市の基準やマニュアルに照らし合わせ、適切な運営に努めているところでございます。

続きまして(9) の異物混入の状況についてご説明します。1学期と2学期、学校と給食センターから報告があった給食への異物混入の件数は、1学期は32件、2学期は26件でございました。異物の内容は、虫、毛髪、ビニール片、鋭利ではないプラスチック片、糸くず、繊維、発砲スチロール片、水あか・こげとなっております。

異物混入対応マニュアルに従い、学校から混入の報告を受けた給食センターでは現物を回収したうえですぐに原因を調査し、再発防止のための対策を検討し、センター内で周知徹底を図ります。調理業務を委託している給食センターも同様で、委託事業者から混入の原因や再発防止策を明記した報告書を教育委員会へ提出していただいております。

原因が給食センター以外、例えば食品納入業者等にある場合は、業者に現物を引き渡し、調査を依頼し、結果を報告書にして提出いただいております。

1学期と2学期の異物混入件数が合計58件で、うち、学校で発見されたものが37件、残り21件は給食センターで発見し、学校への配送前に除去しております。また、全体の半分以上の31件が委託業者が納品している米飯関係となっております。米飯への虫、毛髪、ビニール片、発砲スチロール片、水あか、コゲ等の混入のほか、機器の不調により、この2月には学校への配送遅延が2回ございました。委託業者には改善を求めており、その都度対応してもらっていますが、抜本的な設備更新等は難しい状況と思われま。す。ですが、給食用の米飯を一度に炊飯できる業者は限られておりますので、今後も県学校給食会や保健所など関係機関と連携して給食提供に支障のないよう対応してまいります。

次に、(10) 令和4年度学校給食関係予算状況についてご説明します。

今年度の当初予算におきまして、歳入は総額で4億1,320万7千円で、うち給食費が3億8,281万3千円、次に多いのが市債の2,840万円で、これは歳出にあります大型備品更新費3,360万7千円に充てられるものです。

歳出は総額で9億713万2千円で、その42%が食材費となっております。歳入の給食費よりも食材費が113万円ほど多いのは、各給食センターで事故に備えて保存食を2週間冷凍保存するための食材費です。次に給食センター運営費は調理業務等委託料を含め、給食センターを適正に運営するための様々な点検業務委託料や手袋などの衛生用品の購入、検査手数料、光熱水費等になります。人件費は調理士及び学校給食管理室職員の給料、手当等です。大型備品更新

費は、石鳥谷学校給食センターの回転釜とスチームコンベクションオーブンが購入から 20 年経過しており、故障した場合の交換部品がすでに生産停止されているため、今後に備えて計画的に更新するものですが、今月末までに完了する予定です。施設維持修繕費は、全給食センターの施設・設備等の修繕に充てられる予算です。歳出と歳入の差額約 5 億円につきましては、市の一般財源で負担しております。

最後に、7 ページをご覧ください。10 か所の学校給食センター別の運営状況を、まとめております。

右から 3 列目、調理士、調理業務等委託先という列をご覧くださいますと、花巻と石鳥谷、東和の給食センターは直営で、市職員の調理士を配置して運営しております。ほかの 7 センターは、民間事業者の株式会社メフォスに調理業務等を委託しております。南城・矢沢・宮野目の 3 センターは、今年度から 3 年間、湯口、湯本、西南の 3 センターも同様に今年度から 3 年間、大迫センターは今年度から 5 年間、株式会社メフォスに委託し、それぞれの給食センターに会社が調理士を配置しております。

配送については、花巻給食センターのみが自前で調理士が配送しており、他の 9 センターは調理業務の委託先、もしくは地元の運送事業者や第三セクターのバス事業者に委託している状況です。

以上で、令和 4 年度学校給食運営内容についての説明を終わります。

(野里委員長)

ありがとうございました。説明が終わりました。皆さまからご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。発言の際は、マイクをご使用願います。何かございますでしょうか。

(発言なし)

(野里委員長)

意見は無いようですので、それでは、議題 2、令和 4 年度学校給食運営内容についてはこれで終わります。

続きまして、議題 3、令和 5 年度学校給食運営計画（案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局（佐々木次長）

資料 8 ページをお開き願います。

令和 5 年度学校給食運営計画（案）についてご説明します。

まず、1 の基本方針は、「成長期における児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた安全でおいしい給食を提供する。また、地場産品の活用を図り、旬の食材で季節感を取り入れるとともに、望ましい食習慣の形成に向けて、食に関して学ぶことができる「生きた教材」となる給食を提供する」。このことを念頭に、運営してまいります。

次に 2 の具体的な取り組みですが、(2) の適切な衛生管理については、「学校給食衛生管理基準」に基づき、食中毒の発生や異物混入を未然に防止できるよう、各種マニュアルに沿った日常点検の徹底と、保健所の指導により施設内の衛生・安全管理に努めます。

また、検査機関による施設内の衛生検査を実施し、学校給食管理室に配置している衛生指導員が各給食センターを巡回して改善状況を確認、指導を行うほか、学校薬剤師による定期検査の際にも点検、指導を受けることとしております。

(4) の職員研修の実施については、調理員につきましては専門の技能や知識の習得、向上の

ために研修会の開催や外部講習会への参加を計画いたします。また、栄養教諭と調理員で構成する専門部会を構成し、実践的な研究、発表を行います。

(5)食に関する指導については、各学校の食育年間計画に基づき、学校と連携して実施してまいります。また、献立表、食育だよりの発行やSNSの利用により、家庭へ情報発信をしております。

次に(6)の食物アレルギーへの対応については、市の対応基本方針に基づき、子どもの「安全」を最優先としたうえで、家庭や学校と連携し、事故防止の徹底を図り、アレルギー疾患のある児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援してまいります。

(7)調理業務等委託業者との連携につきましては、委託業者と教育委員会が連携を密にし、適時に適切な対応ができる体制をとってまいります。学期末には振り返りを行い、課題の改善につなげてまいります。

9ページ目の(8)学校給食費公会計の適切な管理につきましては、異動処理、データ管理はもちろん、督促や納付相談等の未納対策について引き続き取り組んでまいります。

最後に3 令和5年度学校給食関係予算(案)でございます。

2月に内示されました令和5年度当初予算(案)は、2月24日開会の市議会3月定例会で審議されることとなっております。

内容でございますが、歳入の総額は4億1,403万6千円で、給食費は3億7,782万7千円を見込んでおります。市債の2,130万円と、まちづくり基金繰入金900万円と、国庫補助金277万7千円は、歳出にあります施設改修、大型備品更新費に充てられるものです。

歳出の総額は8億9,523万3千円で、うち44%が食材費となっております。また、施設改修、大型備品更新費3,383万1千円は、石鳥谷学校給食センター屋根塗装工事に係る実施設計業務、東和学校給食センター空調設備更新工事と、花巻地域給食センターの老朽化している業務用冷蔵庫や東和給食センターの給食配送車の更新費用です。

以上で、令和5年度学校給食運営計画(案)について、説明を終わります。

(野里委員長)

ありがとうございました。説明が終わりました。皆さまからご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

(菅野委員)

東和町でリンゴを作っております。リンゴ農家としては給食にリンゴをとり入れていただいているのはありがたいです。

人件費が去年の予算より大幅に下がっているのですが、これはどうしてでしょうか。

事務局(佐々木次長)

令和5年度予算案のうち人件費の減少についてご質問をいただきました。令和4年度に比べまして人件費が確かにさがっておりますけれども、給食センターの直営の調理士が、今32名おりますけれども、うち6名が定年退職後に再任用職員として働いていただいております。令和5年度も、令和4年度末で2人定年退職されてまた再任用職員として再び勤務していただく予定ですが、そういった関係で給料等の人件費が下がっているという状況でございます。

(菅野委員)

わかりました。ありがとうございます。

(野里委員長)

そのほか、ございますでしょうか。

(発言なし)

(野里委員長)

ないようですので、それでは、議題3、令和5年度学校給食運営計画(案)について、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

(一同うなずく)

はい、ありがとうございます。みなさまうなずいておられますので異議なしということで、原案のとおり決定いたします。

続きまして、議題4、令和5年度学校給食実施日数及び学校給食費について、事務局より説明をお願いします。

事務局(佐々木次長)

資料の10ページをご覧ください。

令和5年度の給食実施日数及び学校給食費につきまして、ご説明します。

表中の実施日数につきましては、受配校と給食センターの間で調整した日数となっております。小学校は160日から170日の間で、平均では166日、中学校は159日から169日の間で、平均では165日となっています。

次に、給食費について、はじめに別冊の「令和5年度花巻市学校給食費算定資料」をご覧ください。

はじめに、食料品の価格動向ですが、総務省統計局が1月に発表しました消費者物価指数によると、食料品は2年前の2020年を100とした場合、2022年の平均が104.5となり、4.5%の上昇がみられます。特に生鮮食品のみを取り出した場合、指数は106.7まで上昇し、特に魚介類や玉ねぎの高騰が著しい状況です。

次に、(2)の市内共通物資の単価の状況ですが、令和3年度と比較すると、小麦粉は4.8%、牛乳が2.4%、豚バラ肉が20%、しょうゆが8.1%、米油が11.1%上昇しております。

次に(3)の主食と牛乳の単価動向ですが、小麦粉・牛乳は毎年、値上がりしている状況です。精米は令和4年度に値下がりがみられますが、21.28円は令和3年産米の価格で、コロナ禍の影響で外食需要が減り、値下がりましたが、昨年11月から使用しております令和4年産米は、令和3年産米から4.9%上昇して22.32円という状況となっております。

続きまして資料の2枚目でございます。令和5年度の給食費を試算した算定資料ですが、主食の米飯と牛乳、副食の3種類について、令和4年度の価格と令和5年度の推計価格、その差額を計算しております。

まず主食は、精米価格の上昇から、前年比4%増で推計しております。牛乳は、令和4年11月に生乳価格が引き上げられましたが、学校給食用牛乳は年度途中であるため、岩手県牛乳普及協会において値上げは行わなかったことから、令和5年度当初からの値上げが予想されます。そのため、前年比2.4%増で推計しております。

また、副食は主食と牛乳以外の合計となりますが、市が給食用物資として単価契約しております80品目の食材料の平均上昇率を参考に、前年比3%増で推計しております。

その結果、花巻・石鳥谷地域の委託炊飯を想定しますと小学校では一食あたり304.14円の積算ですが端数切上げで305円、中学校では一食あたり360.88円の積算ですが端数切捨てで360円が妥当という算定になりました。

また1食あたりの値上げ額でみますと、小学校が合計9.14円、中学校が合計10.88円で、平均すると10.01円のため、小・中学校とも1食あたり10円増額が妥当という算定となりました。自前で炊飯している大迫・東和地域につきましては、食数の関係でどうしても食材料費が割高になっている事情もございますので、花巻・石鳥谷地域同様に1食10円増の算定いたしました。

それでは、もとの資料に戻りまして、10ページをお開き願います。ただ今の算定結果を受けて、令和5年度の一食単価は、令和4年度の単価に10円上乘せということになりますが、児童生徒の学校給食費につきましては、令和4年度の単価のまま据え置き、食材料費との差額1食10円分は、市が負担する形で提案させていただきます。

据え置きとする理由ですが、現在も生活物資や光熱水費、様々なサービスの値上がりが続いている状況が一つございます。また、最近の学校給食費の推移ですが、令和2年度に公会計に移行する際、バラバラだった一食単価を統一するため、花巻・大迫・東和地域は令和2年度に、石鳥谷地域は令和3年度に、一食単価をそれぞれ値上げしております。こうした事情にも配慮し、児童生徒分は保護者の負担増を避けるため、令和5年度は値上げしないことにいたしました。

なお、教職員と学校給食センター職員の一食単価につきましては、11ページ目にありますとおり、令和4年度よりも10円増としてこれまで同様に食材料費と同額で提案させていただきます。

一番下の箱枠の中は、規則で定めております年間実施日数の上限と、一食単価の上限で、この範囲内で定めることとなっておりますが、日数、単価ともに範囲内に収まっております。

また、給食実施日数と一食単価については、本日の運営委員会に提案され、その検討の結果を尊重して市長が決定することとなっておりますので、本日の会議結果をもとに、3月中に市長決裁により正式に決定する予定です。

以上で、事務局からの説明を終わりますが、ご審議よろしく願いいたします。

(野里委員長)

はい、ありがとうございます。それでは、皆さまからご質問、ご意見等いただきたいと思っております。

(発言なし)

よろしいでしょうか。それでは、議題4、令和5年度学校給食実施日数及び学校給食費について、ご異論ないというものとし、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

(一同、うなづく)

はい、ありがとうございます。ご異議なしということで、原案のとおり決定いたします。

(野里委員長)

ここで一点お諮りしたいことがございます。給食実施日数については、今後、学校の年間行事計画の調整過程において若干、変動することも考えられます。学校事情による給食実施日数の変更の取扱いについては、委員長に一任ということをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

(八重樫委員長)

はい、ありがとうございます。ご異議なしということですので、給食実施日数の変更の

取扱いについては、委員長に一任いただくことに決定いたしました。

続きまして、議題5、情報提供について、事務局より説明をお願いします。

事務局（佐々木次長）

資料1 2ページをご覧ください。

学校給食費の公会計について、今年度の状況をご説明します。

学校給食費は、一食単価に年間給食日数を乗じて算出した額を、年間9回に分けて納付していただいております。納付方法は、納付書で金融機関窓口で支払う方法と、口座振替の2種類で、口座振替の振込手数料は市が負担しております。

次に、公会計開始後の令和2年度及び令和3年度分の学校給食費収納状況ですが、令和2年度分未納額は調定額と収入済額の差額109万1,800円で収納率99.71%、令和3年度分は未納額228万1,045円で収納率99.39%となっております。

次に、令和4年度分の収納状況ですが、2月21日現在の収納率を6月納期分から12月納期分まで表にしております。6月納期分の99.05%が最高で、少しずつ収納率が下がっており、平均では98.2%となっております。前年同期と比較して、平均0.34%収納率が落ちている状況です。

未納対策といたしましては、残高不足で口座から引き落としできなかった場合、再振替は行わず、代わりに納付書を送付して納付をお願いしております。

また、納期限後20日以内に支払われない場合は督促状を送付しておりますほか、電話による督促や分割納付の相談を受けております。さらに学校に協力をお願いして、期末面談が行われる場合は、未納があるご家庭に先生からの声掛けをお願いしております。また、未納が長期間続いたり、学校給食管理室から保護者と連絡が取れない場合は、私ども学校給食管理室の職員が手分けして学校での期末面談終了後に保護者と面会して納付相談を行っております。令和3年度からは市の児童福祉担当課と調整して、未納がある保護者の方からの申し出により児童手当から学校給食費を天引きできるようになりましたので、こちらの制度の利用も提案しながら、未納金の回収に努めております。

以上で、公会計の状況について説明を終わります。

（野里委員長）

ありがとうございました。ではまた皆さまからご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

（発言なし）

（八重樫委員長）

はい、よろしいでしょうか。ありがとうございます。そのほか、事務局のほうから何かございますでしょうか。

事務局（佐々木次長）

ございません。

（野里委員長）

はい、ありがとうございます。

それでは、議題につきましてはこれで終了いたします。以上をもちまして議長の務めを終わらせていただきます。スムーズな進行にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。

事務局（佐々木次長）

委員長の野里校長先生、ありがとうございました。

最後に、次第の4 その他となりますが、次回の会議は1年後のこの時期を予定しております。日程調整後、ご連絡いたします。

最後に皆さまから何かございますでしょうか。全体を通してでも構いません。

(発言なし)

事務局（佐々木次長）

何かありましたらいつでも教育委員会の学校給食管理室にご質問ご意見等いただければ幸いです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。それでは、以上をもちまして令和4年度花巻市学校給食センター運営委員会を閉会いたします。ありがとうございました。